

野々市市の自転車事故の削減



自転車ネットワークとは



自転車専用道路を用いて歩行者・自転車・自動車 safely 移動出来るようにする都市計画



野々市市の自転車ネットワークを拡大する際に優先順位として事故の危険性が高い個所を選出し、自転車ネットワークを設置すべき場所情報を提供する。

県道窪野々市線は沿線に学校や病院、店舗が立地しており、自転車利用が多く、歩道上で歩行者と自転車とが混在し危険であった。

そこで、2015年9月までに、金沢市窪町から野々市市扇が丘・高橋町までの約1.9 km 区間において、自転車走行指導帯が整備された。



目標達成のため、野々市市内の自転車事故情報が必要だったため、白山警察署にお願いして自転車の人身事故のデータを提供して頂いた。市から高校生を対象にした自転車交通に関するアンケートを提供して頂いた。

白山警察署より提供して頂いた自転車事故の発生場所を野々市市のマップ上にマーキングした。県道179号線に沿って事故が起きている。また、大通りに出る場所でも事故が多い。県道193号線と本町周辺、明倫高校周辺が自転車ネットワークを引くべき場所であると考察する。

